



1月15日から

釜石物産フェアを開催

2万人を超える死者・行方不明者を出した東日本大震災も、今年で10年の節目を迎えます。被災された地域では、かつての活気を取り戻すための活動が今でも続けられています。復興の一助となれるよう、ふれあいショップ希望では、令和3年1月15日から、震災当時に本協議会が職員派遣を行った、釜石市の食品を販売するコーナー“釜石物産フェア”を開催します。ぜひ、足をお運びください(商品が売り切れ次第終了)。



ふれあいショップ希望

場所 愛川町福祉センター1階

営業日 月～金(祝日は除く) 時間 午前9時30分～午後3時
※営業時間外でも販売は可能ですので、町社協事務所にお声がけください。

ふれあいショップ希望は、障がいのある人の雇用の場をつくり、障がいがあっても一生懸命頑張る姿勢を地域社会に発信することによって「共生社会の実現」に資することをねらいとしています。飲料や菓子等の他、障がい者作業所で作った野菜やパン、手芸品などの雑貨を販売しています。

「もったいない」を「ありがとう」へ!

フードバンク運営事業「フードバンクあいかわ」

町社協では、町内企業等から食料品寄付を活用したフードバンク運営事業「フードバンクあいかわ」を実施しています。提供いただいた食品は、町社協での本人との相談や福祉関係機関等を通じて、経済的に困窮した状況等により、一時的に食べる物がなくて困っている方々の支援に活用させていただきます。フードバンク事業を推進することにより、「食品」を通じて、地域で支え合う社会の実現を目指します。

- | | |
|----------|---|
| 受付けできるもの | <ul style="list-style-type: none"> 未開封のもの 常温保存できるもの 賞味期限が1か月以上先のもの (例) お米、パスタ、レトルト食品、インスタント食品(カップ麺等)、缶詰・瓶詰、ふりかけ、飲料 |
| 対象外となるもの | <ul style="list-style-type: none"> 品物に破損があるもの(缶詰の凹みは受付可) 生鮮食品 冷蔵食品 チルド(冷凍)食品 ※チャック付きの食品であっても開封しているものは受付ができません。 |



問い合わせ 町社協 ☎285-2111 (内線3793)

求人情報

職員募集に関する問い合わせ先

社会福祉法人愛川町社会福祉協議会 愛川町角田257-1 町福祉センター内
☎046-285-2111 内線3791・3793
HP http://www.shakyo-aikawa-kanagawa.jp

愛川町社会福祉協議会 職員募集

町社協では、専任職員(正職員)を募集します。受験案内と応募書類関係は、本協議会窓口で配布します。受験資格等の詳しい内容は、本協議会までお問い合わせください。また、ホームページでもご覧いただけます。

受験受付期間 令和3年1月4日(月)から採用者が内定するまで
土・日曜日・祝日を除く

試験等 個別面接試験等(受験申し込みのあった方から順番に期日を指定します)

非常勤職員募集(ミニデイサービス運転員)

ミニデイサービスを利用する高齢者の送迎を行う運転員を募集します。

- | | |
|------|---|
| 業務内容 | 高齢者の送迎業務(要普通自動車運転免許) |
| 業務時間 | 水曜日、金曜日 午前8時30分から午前10時30分/午後2時30分から午後4時30分 |
| 時給 | 1,017円 |
| その他 | 詳しい内容は、本協議会までお問い合わせください。 |

自治会に加入しましょう



自治会は地域福祉の原動力

課題や工夫を情報交換 コロナ禍の高齢者サロンについて

高齢者がいきいきと暮らすための地域の活動の場として「高齢者サロン」があります。閉じこもりや孤独といった状況を未然に防ぐことをはじめ、レクリエーションや他者との交流による介護予防、認知症予防など様々な効果があり、現在は町内10カ所で高齢者サロンが運営されています。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くのサロンが活動自粛を余儀なくされており、高齢者の心身機能低下や孤立などが懸念されています。

代表者が集い意見交換

こうした状況の中、昨年11月16日に町福祉センターで、町内の高齢者サロン8団体の代表者等が集まり、コロナ禍におけるサロンの現状や課題について情報交換を行う「高齢者サロン連絡会」を開催しました。

人数が多いサロンでは、「密集や密接を避ける」「人と人との距離を確保する」などが困難なことから活動の自粛が続いており、あるサロンでは、しばらく開催ができないため、地域の高齢者が元気に過ごしているかどうかの確認を目的に、ボランティアスタッフによる友愛訪問に取り組んでいるという話がありました。一方、小規模なサロンではマスクの着用や参加前の検温、手指消毒の徹底、こまめな換気などの感染防止対策をとりながら活動を行っているという報告もありました。



高齢者サロン連絡会の様子

「高齢者を地域で一人にしない」感染症対策でサロン活動を再開

桜台なかよし会(代表:栗山幸子さん)は、コロナ禍で活動を行う数少ない高齢者サロンの1つです。

毎月第1木曜日に桜台児童館で開催され、サロンに集うのは高齢者とボランティアスタッフを合わせて10人程度です。

サロンを行う日は、会場の入り口に児童館備えつけの体温計と手指消毒用アルコールを用意して、参加者ひとり一人に声をかけ、手指消毒や検温結果の記録を行います。参加者の座る場所は適度に隣の方との距離が確保され、会場の換気や使用するテーブル等の消毒を行うことにより感染対策に努めています。

代表の栗山さんは、昨年3月から活動自粛をしていたサロンの再開にあたり、ボランティアスタッフと話し合い、歌の時間を設けないことやペットボトルでのお茶の提供、活動は創作を中心にするなどを決めました。その後、自治会の理解も得て7月から活動を再開しています。「高齢者を地域で一人にしてはいけない」。高齢者を想う栗山さんの温かな言葉が印象的でした。



①適度に座席の間隔を空け、換気にも注意して活動②参加者は入り口で検温③手指の消毒も忘れず④活動の段取りや感染症対策はスタッフ同士でしっかり話し合います